

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	就労継続支援事業所多機能型Bild口	事業所番号	2317900567
住 所	愛知県尾張旭市三丁目1番地1口	管理者名	元田 裕人
電話番号	0561-52-0550	対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要	
<活動内容> 活動場所 株式会社ease（愛知県尾張旭市東栄町2丁目2番地3） 実施日程 令和7年3月27日 11:30～12:00 実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要 本研修は、当事業所が施設外就労を実施している株式会社easeにて、現在利用者が担っている発送作業の前工程である「ピッキング作業」について、担当者より業務の流れや仕組み、現場での工夫などを説明いただいたものです。発送作業の一部として関わっている利用者にとって、業務全体の理解を深めることで仕事の意味や責任感を持って取り組む姿勢を養うことを目的としています。 利用者数 等 支援員2名 利用者2名（当日4名欠勤） 研修担当者2名 <目的> 利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい 発送作業の前工程である「ピッキング作業」の理解を深めることにより、自分たちが行っている作業の意味や全体の流れを把握し、主体的に業務に取り組めるようにすること。将来的には、ピッキング作業など他工程へのステップアップの可能性を広げ、一般就労に向けた準備力を高めるねらいもあります。 利用者にとってのメリット 業務の全体像が見えることで仕事への意義や目的を感じやすくなり、モチベーションや責任感の向上につながる。また、新しい工程への関心を持つきっかけとなり、就労の幅が広がる。 <成果> 実施した結果 利用者は真剣に担当者の説明を聞き、メモを取りながら理解を深める姿勢が見られました。また、実際に使用されているピッキング用ハンディ端末の説明に対しても高い関心を示していました。 得られた成果 発送作業の背景にある業務の流れを知ることで、自身の業務の重要性を認識することができた。ピッキング作業の一連の流れや工夫点を知ることで、作業に対する視野が広がった。 課題点 当日欠席者が多かったため、すべての利用者に研修の内容を共有しきれなかった点。今後は記録や写真などを用いたフォローアップが必要。また、実際のピッキング作業を体験できる機会を設けることで、理解をより深められると考えられ	<活動の様子> 活動の様子の写真 ・ピッキング作業説明を受ける様子  ・ハンディ端末を実際に使用する様子  追加コメント ピッキング作業では、注文リストと封筒のバーコードを読み取り、ロケーション番号に従って商品を集め、緑や白のかごに仕分けして発送部門に引き渡す流れを学びました。

連携先の企業や事業所等の意見または評価	
連携した結果に対する意見または評価 「発送作業を担ってくださっている利用者様が、ピッキング作業にも関心を持っていただけたことが嬉しい。業務全体の流れを知るとは、どの工程でも大切な視点なので、今後の成長にもつながると期待している」との評価をいただきました。工程ごとの連携や意味を理解することが、ミスの減少や業務の精度向上にもつながるとのお言葉もいただいています。 今後の連携強化の課題 ピッキング作業など新たな工程への体験機会を提供いただく際には、利用者の理解度や体調・特性への配慮をこちら側からしっかり説明し、無理のない受け入れ体制と一緒に検討していくことが大切です。	
連携先企業（担当者）	easeアロマショップ 田中様、柴田様

利用者からの意見・評価
参加した利用者からの意見・評価 「発送作業だけでなく、その前にどんな準備をしているのかがわかって面白かった」 「いつかピッキングもやってみたいと思った」 「アロマっていろんな種類があって、在庫を管理するのが大変そうだけど、うまく工夫しているのがすごいと思った」 など、ポジティブな反応が多数見られました。作業の意味づけや就労意欲の向上に寄与していると感じられます。